

広島大学大学院医系科学研究科 救急集中治療医学

志馬 伸朗 教授

“あゝ全くたれがかしくたれが賢くないかはわかりません”

宮澤賢治「虔十公園林」より

医学や医療というものは当たり前だがむずかしく、正解というものがどこにあるかなかなかわからない。とりわけ救急・集中治療では、突然に発症する、予想外の、展開の速い、命に関わる、疾患や病態に対応しないといけないから、なおさらである。それでもくじけることなく、日々500杯の水をくみ、畑の草もたくさん取る。

専門はあってもよいがなくてもよい。もとより人間のすることであるから、高い専門性と幅広い知識や技術は同時に求めるべくもない。60点では物足りないが100点ではなから諦めて80点くらいを目指す。これが私たちの生き方である。

繰り返すが現実には容易でない。80点すら取れないことも多々ある。医療には限界がある。時間制限、複雑さ、困難さ。その中でひたすら80点を目指すのである。

現実には真摯に向き合うことが重要である。限界を認識することも重要である。その中で、ドラマチックな結果を得るのではなく、平凡な結果を求めるのだ。劇的救命はない。小児も成人も高齢者も、内因性も外因性も、診療も、研究も、教育も、なんでも幅広く淡々と対応する。この考えに共鳴される医師は多くないだろう。なんと夢のない職場かと。しかし、一握りであっても、ここに多少なりとも興味を持ち、私たちの取り組みに幾許かでも加われるという気持ちがある方がいれば、一度門を叩いてみてもらいたい。門はすぐに開くし、入ってみると案外面白いかもしれないから。



医局
紹介

全国の医局情報を
Pick Up



やりたいことは何でもできる。ERからICUまで、外傷手術から終末期医療まで。重症外傷、重症熱傷、重症呼吸不全・ECMO、敗血症、小児重症疾患など何でも診られる。ドクターヘリ、ドクターカー（ECMOカー）、遠隔集中治療もある。救急科ないし集中治療科専門医研修の学外連携先は全国各地自分で選んだ好きなところへ。専門医取得後の+αは自由。御礼奉公不要。学位、子育て、魚釣り、OJT、留学、ダブルボード、全てやりたいようにすればいい。医局とか同門とか古めかしい縛りは存在しない(残念ながら、医局費はある)。ただし、おとなの“仕事”だから最低限の規則や礼儀、常識は存在する。まあこれは当たり前だ。

誰が賢くて誰が賢くないか、何が正しいか正しくないかはわからない。とにかくここに来て、やってみることだ。

文責：志馬 伸朗(教授)



DATA

広島大学大学院医系科学研究科
救急集中治療医学

〒734-8551

広島県広島市南区霞1-2-3

E-Mail : kyukyu@hiroshima-u.ac.jp



HPはこちら



Instagramはこちら

医局員…	28人
指導医…	22人
専攻医…	6人

いずれも大学内勤務者

よく分からないが、とにかく救急集中治療